

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日午後、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。
検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最高で220cells/ml、シャットネラ属が380cells/ml、ケラチウム属が6 cells/ml、確認されました。

カレニア・ミキモトイは減少傾向ですが、シャットネラ属は浦ノ内湾の広い範囲で漁業被害が想定される密度を超えていました。昨日までの降雨の影響で表層の塩分濃度が低下しており、中層に赤潮プランクトン層が形成されています。表層がきれいでも中層で赤潮となっている可能性がありますので、嚴重に注意してください。

今後も増殖・拡大が想定されますので、**餌止めなど慎重な養殖管理**をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン(cells/ml)

調査地点	水深	カレニア・ミキモトイ	ケラチウム属	シャットネラ属	ケイ藻類
鳴無	1m	0	0	3	わずか
	2m	180	2	119	わずか
	5m	0	0	1	わずか
中学校前	1m	0	1	1	わずか
	2m	2	0	23	わずか
	5m	27	0	16	わずか
目ノクソ	1m	0	0	2	わずか
	2m	1	0	380	わずか
	5m	21	0	55	わずか
光松	1m	1	0	108	わずか
	2m	220	0	290	わずか
	5m	85	0	110	わずか
大鹿	1m	0	0	43	わずか
	2.5m	11	1	87	わずか
	5m	36	1	16	わずか
宇佐漁場	2m	2	0	0	500
	5m	2	0	0	1200
市場前		1	0	0	3200
	2m	2	0	0	1500

漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ: 数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属: 10～100cells/ml(魚類へい死)
- ・ケラチウム属: 100cells/ml～(餌食いの悪化)

